

≪第1回≫研究会レポート

<概要>

1. 日時 : 2005年11月26日 (土) 11:00 ~ 15:00
2. 場所 : 株式会社ダスキン 本社会議室
3. 出席者 : 教育関係者7名(小学校 3名、中学校 2名、教育委員会 2名)
4. タイムスケジュール

時間 内容

- 11:00 はじめに
- 11:05 メンバー自己紹介
- 11:10 学校掃除教育PJこれまでのあゆみ
- 11:25 掃除教育実践事例紹介(吹田市立吹田南小学校)
- 11:40 フリーディスカッション
- 12:30 昼食休憩
- 13:15 ディスカッション
 - テーマ I : 掃除のもつ教育的効果としての「段取り力」研究
 - 1. 段取り力とは?
 - 2. 掃除を通して段取り力はどのように身につけられるか?
- 14:55 まとめと今後の予定

<テーマディスカッションの内容>

2005年度の研究会では、吹田市立吹田南小学校の取り組みの中でも特に成果としてあがった段取り力について更に討議を重ねることとした。大きく分けて、「掃除のもつ教育的効果の側面から見た段取り力とはどのようなものなのか」、そして「学校掃除を通して段取り力を身につける具体的な手法はどのようなものか」、という2つを研究テーマとして例会を開いた。

テーマ : 掃除のもつ教育的効果としての「段取り力」研究

1. 段取り力とは?

段取り力と聞いて何を思い浮かべるか?

先生方の意見からキーワードを引き出し、以下のようにまとめた。

<段取り力とは>

- 見通す力
- 無駄がない(動き・時間)
- グループ共通の認識(各自の段取り・優先順位は異なる為)

<個人の段取り力とは>

- 生活経験を豊富に体験できるチャンスがあるか
- 「チャレンジ → 成功・失敗 → まとめ」のフィードバックの積み重ね

<集団での段取り力とは>…個人での段取り力にプラスして

- コミュニケーション能力(思いやりなども…)
- 創造力
- 想像力などもプラスされることにより、高度なものになる

段取り力とは具体的にどのような力で構成されているか?

- 日常の暮らしで、段取り力が発揮される生活場面と、そう思う理由について
ポストイットに各自2つ以上記入した。
- 記入したポストイットをKJ法を使用して分類。段取り力を構成する要素として11分類に振り分けた。

<段取り力を構成する要素>

カテゴリ(要素)	場面	理由
①目標を持つ力	食事作り 食事の準備	<ul style="list-style-type: none"> ・段取りを考えないと美味しい時に食べられない ・温かいものは温かく、冷たいものは冷たく一番美味しいこあいを考えて ・熱いもの冷たいものちようど食べる時間に合わせる
	受験勉強の計画づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の受験したい学校の合格水準にあわせ、受験課目への時間配分ができるから
	電車にのる場所を決める	<ul style="list-style-type: none"> ・短時間で改札にいくため
	電車に乗った時携帯アラームをセットする	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り越さないため
	旅行の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・早めなら安くなる場合もある
	風呂を沸かす時間・入る時間	<ul style="list-style-type: none"> ・冷めてしまうと費用がかかる
	正月・クリスマス・誕生日などの家族のイベント	<ul style="list-style-type: none"> ・自分も楽しく行事に参加できる
	買い物をする時間	<ul style="list-style-type: none"> ・段取りタイムサービスの利用。 夜間に買うと半額などになり安上がり
	子育てをしていた時	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の時間を作りたくて、夕飯・洗濯・掃除・弁当作りを手早く済ましていた
	自分がやりたいことをする時間を確保したいとき(休日の過ごし方など)	<ul style="list-style-type: none"> ・段取り生活と自分のココロ(ハートマーク)に潤いができるから(これが一番)
そうじ	<ul style="list-style-type: none"> ・段取ることで見えなかったことが見えてくる 	
②限られた環境の中でやり通す	(1ヶ月)家計のやりくり	<ul style="list-style-type: none"> ・予算が決まっているから
	食事作り(順番)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンロが2つしかないの
③先を見通す	花づくり(ガーデニング)	<ul style="list-style-type: none"> ・花をきらさない為、植える時期を変える。
④優先順位を決める	夏休みの宿題	<ul style="list-style-type: none"> ・期間が長いだけに、時間とやりたいこと(遊び)のバランスを自分で決定しなくてはならないから
	同時に仕事をいくつもこなす時(ビジネスシーン)	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつもある仕事の中で、優先順位を決めて時間配分ができる
	日常の業務	<ul style="list-style-type: none"> ・各仕事にかかる時間 ・期限 ・相手のある仕事等があるから
⑤計画力	料理	<ul style="list-style-type: none"> ・計画・準備・後片付け・まとめの多様な活動を伴うものなので、段取り力のあるなしで技術の向上がある
	旅行の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が好きなので段取りをすることが楽しい。 費用・時間・要求を満たすなど
	家族で遊びに行く計画	<ul style="list-style-type: none"> ・行く前のリサーチと帰ってからの段取り(帰ってからの夕食・子どもの宿題の時間確保)
	授業の計画 研修の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・段階に応じてこんな力を生徒につけたい ・こんな情報を先生達に付けてほしい
	片付け	<ul style="list-style-type: none"> ・段取らないと片付けられない
	ボランティアの交流幹事	<ul style="list-style-type: none"> ・人・モノ・金の段取りが必要 ・参加者の予測 ・楽しませる工夫も必要
	遠足	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の行程と今日の辺にいるかを把握していると遅れず時間どおりに帰宅できるから
	臨海に子どもたちを連れて行く	<ul style="list-style-type: none"> ・深い海で泳がせるので泳力とチームワークをつけさせるの段取り
	幼の主任教諭の仕事(園長と担任のつなぎ)	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑な園運営のため
	組体操をさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・短期間に演技を身につけ覚えさせることが必要
⑥必要なものや資料を準備する	新しいプロジェクト 会議に提出→実行	<ul style="list-style-type: none"> ・リサーチ・資料の準備・過程・成果を手際よく計画プレゼンすることで理解・協力・賛同が得られ、実行・成功に結びつく

⑦役割分担を行う	大掃除	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた時間の中で結果を得ることができる ・家族動員役割分担もできる ・家族の役割をその人の特徴に合わせて割りふる。
	フォーラムやセミナーの運営	・多くの人を動かして役割分担をしながら運営する
	調理実習	・全体の動きとグループ内での自分の役割がわかっていると時間内に終わるから
	家事の役割分担	・全体の見通しと段取り力がないと分担した仕事がアンバランスになりメンバー同士に不満が残る
	行事やプロジェクトを分担して実行する時	・大きな仕事も連絡しあって責任持ってやるとよいものができる
	大型ゴミの整理と廃出	・たくさんあり、量やカサも大きいのでみんなでやると楽
⑧無駄を省く	夕食後、朝食の下ごしらえ	・朝は忙しいから
	料理 3 段活用 (少しずつ変化させる)	・好きなことが出来る時間がとれるから
	仕事のやりくり	・時間を有効に使うため
	そうじ	・無駄な時間を使わず、2 度手間がなくてできる
	洗濯	・乾きにくいものから洗わないと夕方までに乾かない
	そうじをする時間	・家族が起きてないとやりにくいから
	衣替え・布団	・天気も考え(土日)休みに合わせて
⑨同時に実行する	洗濯	・まわしながら次の仕事にとりかかる
	弁当づくり	・オーブントースター・レンジ・ガスコンロ etc 様々なものを使って短時間にできるように
⑩限られた時間で達成する	家庭全般	・できる時間が限られているため
	土日の 2 日間	・掃除・洗濯・調理を同時並行でやらねばならない
	年末のすごし方	・おせちづくり、大掃除 etc 効率よく!
	帰宅後の家事全般	・時間が限られているから
	家事(休日)	<ul style="list-style-type: none"> ・たまっている用事を一気に片付けるため 掃除・衣替え・買物・雑誌や新聞の整理 etc ・できるだけ短時間で効果的により多くのことができるように
⑪他の人の動きを見る力	仕事のメンバーを見て自分の役割を考える(現在)	・円滑な運営のため

テーマ : 掃除のもつ教育的効果としての「段取り力」研究

2. 掃除を通して段取り力はどのように身につけられるか

段取り力を育むためには？

テーマディスカッション - 1をふまえて、子どもたちに身につけてほしい段取り力、段取り力を身に付けられる機会（学校での活動）、機会の特性について、低・中・高のそれぞれの学年ごとにディスカッションした。

<フリーディスカッションより>

	低学年	中学年	高学年
い 身 段 取 り 力	・時間を意識する	・時間を意識する	・計画力 ・時間配分、計画、目標などは 高学年から中学に向けては、相手の立場も考えた上での行動、言動をする力(グループなら尚更→定着
れる 機 会	・掃除 ・休憩時間	・給食当番	・調理実習 ・調べ学習 ・テスト計画(個人) ・生徒会活動(グループ)
機 会 の 特 性	・道具の数、担当させる人数 (先生の段取り力) ・時間内で、どこまでいけるかな？ 時間に戻れる場所、遊びの内容 (失敗を繰り返す、その中での気づき、経験を重ねる)	・時間が限定されている中 決められた作業をすべて終わらせなければならない。 ・臨機応変な対応力	・手順が必要だから ・全体の期間を把握して、自分が何に時間をかけて、どのように成果物を作るか ・卒業までに進路への目標を立て、どこで何をいつまでに学ぶか？ ・人を動かす、企画をする

段取り力を学校掃除で育むには？

以下の内容でグループディスカッションを行った。

- ・児童・生徒にはどのような力を育めるか？
- ・そのために、掃除活動にどのような工夫が必要か？
- ・教師からのどのような指導（支援）が有効か？

<小学校グループディスカッションより>

<前提時条件>	—	
育みたい力(段取り力)	掃除活動の工夫・アイデア	教師の支援
・道具と用具の使い方を知る	・道具の大きさを体の大きさにあうように高学年にサポートしてもらう	・最初に技術指導をする
・掃除の手順を理解する	・ビデオで見せる ・高学年の委員会活動で作ってもらう。 ・教室に手順を書いてはっておき、必ず確認しながら実施させる	・手順が定着するまでいっしょに掃除をする。

<中学校(高学年)グループディスカッションより>

<前提時条件>	小学校高学年～中学1年	
育みたい力(段取り力)	掃除活動の工夫・アイデア	教師の支援
・きちんと生活する力 ・きれいになったという自覚 (課題設定、発見力) ・汚れていることが課題であると理解させる	—	—
公共心＝みんなのために、ここをきれいにしよう、という気持ち	—	—
継続する力	—	—

※中学校グループでは、育みたい力とはについてのディスカッションがはずみ、工夫・アイデアや教師の支援については時間切れとなった。